



感

*Naoki Fukuda*

絵のみのコロナ日記より

## 福田篤展

2022・10・18 (火)～11・4 (金)

休廊 10月22日(土) 23(日) 30(日) : 11月3(木祝)

時間 10:30～17:00

(コロナ感染状況による変更あり)

日本画廊  gallerynippon

東京都中央区日本橋 3-1-4

## □絵のみのコロナ日記

2020年の正月 肺炎の集団発生が中国の武漢で起きているという報道があった。私はそのとき見えない病原の襲来に対する不安と恐怖を描いたカミュの小説「ペスト」を想起し戦慄が走った。

日本では早くも1月15日に1人の感染者が確認された。そして5月初旬までに700名近い死者数が報告された。

その頃私は京都でひとり暮らしていた。つい2～3ヶ月前までは押し寄せる観光客にうんざりしていた禅寺も森閑として人影すらない状態となった。悟りを求める静寂な場を通り越し希な人影はシュールな風景を感じさせた。

美術、音楽、演劇、スポーツ等社会の殆どの活動が停止した、友人との交流も断られた。凍結した日常の中で私は言葉のない絵のみの日記を描いていた。それは他者を自己の内に求めそこ心の交換を託したのかも知れない。想像は脈絡なく画面をさまつた。

日記として描き出した彷徨う精神の断片を作品として展示できないだろうか、というのが今回の試みでもある。 福田篤



東へ



あしたへ

## 福田 篤 略歴

・群馬県出身

1966年 二人展(鎌倉画廊) 以降2回 '67 '68

1970年 自由美術展出品 佳作賞

1971年 自由美術協会会員

1972年 広島平和展(～75年)

1974年 アカシア賞展

信展(日本画廊)

1975年 安井賞候補展

信展(日本画廊)

信展(ギャラリードリ)

1977年 月光賞

1978年 現代美術選抜展(文化庁)

実験するイマージュ20人の作家展(玉川高島屋)

信展(日本画廊)

信展(駱駝館画廊)

1979年 信展(日本画廊)

東京展出品(東京展賞受賞)以後1995年まで出品

信展(駱駝館画廊)

1980年 信展(ギャラリーヤコブ)

信展(駱駝館画廊)

1981年 信展(日本画廊)

信展(ギャラリーヤコブ)

1982年 信展(日本画廊)

1983年 信展(日本画廊)

信展(ギャラリーヤコブ)

1985年 信展(日本画廊)

1986年 信展(ギャラリーケルビム)

1987年 信展(日本画廊)

信展(タマシヤギャラリー)

1988年 信展(ギャラリーケルビム)

1989年 信展(日本画廊)

1991年 信展(日本画廊)

高崎市ゆかりの作家展(高崎市美術館)

1993年 信展(日本画廊)

1995年 信展(日本画廊)

1996年 信展(千駄木画廊)

1997年 信展(日本画廊)

2001年 高崎市美術館所蔵作家展(高崎市美術館)

2002年 信展(日本画廊)

多摩の作家展(たましん歴史美術館)

2004年 信展(日本画廊)

2008年 信展(日本画廊)

2010年 図書館コレクションによる福田篤展(日本画廊)

2011年 信展(日本画廊)

2018年 信展(日本画廊)

・自由美術協会会員

・日本大学芸術学部美術学科講師(1973年～2010年)

日本画廊  gallerynippon

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-1-4  
3-1-4 NIHONBASHI CHUO-KU TOKYO JAPAN  
TEL.03 (3272) 0011代 FAX.03 (3272) 0010

